

学級」が面白い!

「焼き物教室」

毎回来しい活動を続けている公民館の「婦人学級」。名前のとおり学級生は主婦が中心で現在会員は四十一人。「主婦の知恵袋をより充実させたいのある生活設計を」をキャッチフレーズに五月からスタートしています。身近な生活課題をテーマに毎回、実践的な教室からミニ法律相談といった教室まで内容はバラエティ豊か。とくに「聞く」から「やる」への教室運営は好評で、七月と八月の二回連続で開いた「焼き物教室」は大人気。実践的企画で、「個性」を主張しはじめた「婦人学級」におじゃましてみました。



▲うわぐすりを塗り終わった茶碗をガス窯へ

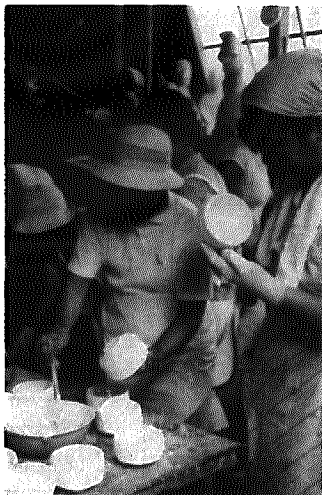
「聞く」から「やる」へ

岩室村公民館が主催している「婦人講座」には料理教室とこの婦人学級の二つがあります。もちろん料理教室の方は、調理実習を中心にしたハード的教室。一方、婦人学級は「主婦の知恵袋をより充実するために」をキャッチフレーズにした、どちらかといえばソフト的要素の強い教室です。

それではなぜ、いま、この「婦人学級」がおもしろいかと言えば、先月行われた「焼き物教室」にみるように、いままでの「聞く」といった講演方式の企画から「やる」といった実践的企画で、「個性」を主張しはじめたからです。それでは先月七日に開かれた「焼き物教室」を少しのぞいてみましょう。

緊張の仕上げ作業

「こんな塗り方でいいかしら」「もっとすみずみまでいいねいに塗ってね」と、この教室の講師である早川孜子さん。会



▲うわぐすりはいいねいに3回塗る

完成した茶碗で「ぶく

今回の焼き物教室で使った窯はドラム缶のような円筒形のガス窯。でも火力は強力で、少し近づいただけでも顔に汗が浮き出てきます。このガス窯の上で数分間、塗り終わった茶碗を暖めて「いいよ窯の中へ」。最終工程のこの作業は講師の早川さんが一手に引き受け、写真

いま「婦人

個性を主張しはじめた婦人学級

でもおわかりになるように、長いヤットコのような器具を使って一つ一つ慎重に茶碗を窯の中へ置く。数分間熱せられたそれぞれの茶碗は真っ赤に焼けて、ガラス工芸の現場の雰囲気。取り出された茶碗はその後、外気に冷やされ、その赤味がとれたところで「サツ」と水の中へ入る。アレレ、瞬時に色が浮かび上がり「これぞ抹茶茶碗」と言わんばかりに変身。「あんなに真っ赤に焼けた茶碗が水に浸らすだけで、微妙な色あいを出すなんて本当に不思議ね」「同じようにくすりを塗ったつもりだけど、どうしてみんな違った感じになるのかしら」とみなさん不思議顔。「窯から出した茶碗を水に入れるのは、色が非常にきわだつからです。色の浮き上がるその瞬間が一番ステキなときですね」と早川さんは言う。

田ノ浦にあるホテルの会議室に会場を移し、できたばかりの手づくり茶碗で抹茶を一ぷく。その瞬間、学級生のみなさんの顔に笑みがこぼれる。反省会を兼ねたこの茶会では、「初めてやったんですけど、出来上がりが良くて納得しています」「茶碗のふちが欠けていたので心配したのですが、思いもかけないよいものができてうれしくなっちゃいました」と参加者の人気は上々。「みんな同じように塗って、みんな同じようにできたら、おもしろくないですね。焼き物にはそれぞれ個性があつて、そのうえ思いもよらない色あいや風格がでてくるところに魅力があるん



▲窯から取り出した茶碗をサツと水の中へ。一瞬のうちになんともいえない色あいが浮き出る

じやないですか」の早川さんのアドバイスにみなさん納得願。今回初めて挑戦した人も、昨年に続き二回目だった人も、それぞれが大自然の中で、自分だけの茶碗を作ったという喜びを存分に味わっていたようです。「次回もぜひ参加したいね」と期待が続く「焼き物教室」でした。



▲これが早川さんのアトリエ。大自然の中で環境は抜群!

手づくりを体感できたのでは...



早川孜子さん (講師/新潟市・62歳)

みなさん大変よくできてホッとしています。残念ながら割れてしまったかたもいましたが、手作りの味ってものは体感できたのではないのでしょうか。自分で汗して作った茶碗で飲むお茶の味は格別で、感激もひとしおのことと思います。

焼き物の不思議な魅力に感激



本間昭子さん (和納4区・60歳)

今回で2回目でしたが、焼き物の魅力というが、その不思議な世界に感激しています。特に窯から出したばかりの真っ赤に焼けた茶碗を水の中にサツと通すだけで、あのなんとも言えない色あいに仕上がるのが今でも信じられませんね。

我が家の宝物にしようかしら?



真島俊子さん (石浜・55歳)

今回初めて挑戦したんですけど、割にきれいに仕上がりに感激しています。そのうえ、先生からも「ステキね」ってほめられてうれしくなりました。自分で作った茶碗ということで、我が家の宝物にでもしようかと考えています。